

広報かわにし

四百メートルの永久橋

栄橋起工式終わる

去る十月三十日、栄橋の架橋現場(川西側)でおこなった地鎮祭が行なわれた。佐藤県土木部長(知事代理)の主宰による儀式が終わったあと、地元代議士(代理)をはじめとする内外の関係者百余名は、ひき続いて挙行された起工式(会場千手中学校)に参列。村上建設大臣ほか衆参両院議員の祝電がひろうつされる中に、喜びの祝杯を汲みかわしたのである。

総事業費 一億四千万円

起工式の席上、木口正雄氏(十日町土木出張所長)が明らかにした栄橋の全長は次のとおりだが、わかりやすくいうと、本郡に既設されている橋の形式でたゞ一つしかない岩瀬橋を、十一倍の長さにした永久橋ができてあがるわけ。

全長 四〇・二・六メートル
幅員 六メートル
型式 上部、プレストレスト

総事業費 一億三千六百万円
全長 四〇・二・六メートル
幅員 六メートル
型式 上部、プレストレスト

コンクリートトケタ(ポストテンション工方式) 橋脚数 十一連
支間の長さ 三六・六メートル

架橋位置は 廿日城の下流

架橋位置は、橋地内にある「桑原の渡し」から約二百メートル上流で、正確にいうと大字木落字前島地内、対岸は十日町市下条の桑原である。異ではさつそく工事に着手するというが、これは資材を運送関係もあり、十日町側(国道から現場まで)の取り付け道路建設だけになるようだ。

技術的にも 最適な場所

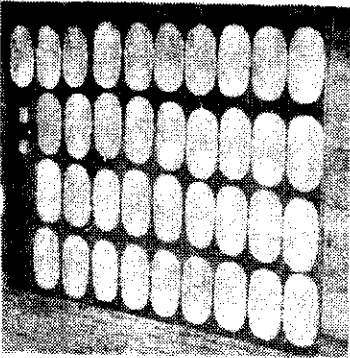
これまで架橋位置をめぐって上流案と下流案が主張され、双方ともゆずらなかつた地元ではあつた。しかしその後及んで、郷土

発行所	川西町役場	吉(社)	作社	円
発行人	川西町	中(村)	幸(風)	5
編集(編)	川西町	金(白)	南(部)	0
印刷	川西町	口(の)	動(き)	5
印定	川西町	日(の)	現(在)	7
	川西町	1(の)	3(の)	0
	川西町	7(の)	7(の)	1
	川西町	4(の)	7(の)	5
	川西町	1(の)	2(の)	5
	川西町	1(の)	1(の)	2
	川西町	1(の)	1(の)	1
	川西町	1(の)	1(の)	1
	川西町	1(の)	1(の)	1
	川西町	1(の)	1(の)	1

繁榮のためにと田滿に話し合い、白紙のまま北村知事に一任されていた架橋位置だったのである。このため十月十日に知事代理として河村道路課長一行が来町、現場に同行の田中代議士と慎重な調査が行なわれたが、の上流案(三領から北原を結ぶ地点)は川市が広く、かつ乱流しているため、数千円も多く工事費がかかること、の下流案(廿日城の岩盤のところ)は水がまともにあたって

小判のささやき

ボクたちは小判です。日本といふ国の大きな変動も知らず、百年間眠っていただけ。揺り起こしてくれたい。田村幸一。これは仙田の室島の、川崎と太郎さんという人の土地でした。眠るときは一両の面に、いまだ



一枚四千両(ツプシの評価額)もするときにビツクリして、五万両という文化財なのです。ボクたちはこんな、まだ記憶もハッキリしません。でも、そこで眠ったのはたしか文久のはじめ、因作が眠って百餘いっき(一枚)のあったころでした。あのころ、溜一両が一面といわれまして、百姓町人の間では銀の小粒と文銭が使われました。ボクがはじめても、九割九分の人たちが、手に取ることをできなかった。懐かしい時代だったのです。ボクたちはこんな、田村さん。川崎さんに半分ずつ引き取られまして。あと一枚のボクは町に密藏されて、いま金庫の中で休んでいます。え？ 何ですって、ボクに会ってみたいのですか、もうらんきんでお会いします。どうぞ役場(出納係)にお出でください。

削り取られるおそれが多分にあること、などがあげられ、技術的に見て廿日城のや下流地点が最適だ」という意見が一致した。次いで二十三日には橋本橋りよる係長らが来町、同地点を詳細に調査した結果、「ここならよからう」ということで正式に決まったものである。

萬感胸に迫る 中村会長の話

期成同盟会長としてきょうまで架橋実現に力を尽くした中村吉氏(川西町長)は、起工の喜びを次のように語っている。「八年間という長い運動がようやく実を結びました。地元のみならずにもいろいろと難儀をかけた

ましたが、一致協力のスツクリした姿で、経済的にも技術的にも値のある場所にかつられることになりました。まことに萬感胸に迫るものがございいます。りっぱな橋が一日も早く完成して、橋の名のおりにこの土地がますます栄えることができよう。みなさんのご協力を期待しております。」

選挙人名簿 縦覧はじまる

九月十五日現在で調製した基本選挙人名簿が、いま役場で縦覧に供されています。縦覧期間は十一月十九日までとなっています。あなたが確実に載っているかどうかをよく確かめてください。

川西町選挙管理委員会

町づくり

ズレをなくそう
町づくりの前途に、大きな障害として横たわっているものがある。それは考えかたのズレだ。みんなの心がバラバラで、オレさよよければ、オラさよよければ、という因習的なズレが、部落や地区ごとにはつきりと區別できる。町づくりのガンだ。とはいわれながらも、いつころには正されようとなさいのである。

広報発行という簡単なことでも、このズレのたがめにとれば困難を感じることがある。それが「このズレが町の水準だ」という思案だ。書いた文章でも、あんな。」「という部落があった。」「つぎつめていけば、社会的な洗練が少なく、自己中心的な部落感情で生活するからなのだろう。」「この町の町づくりに、部落や町内のまとまりが必要なのは言をまたない。しかし、これらの過剰から対抗意識が強くなったり、排他的な封鎖性が、地域の共同体意識であるかのように誤解されて、野に立つて、おたがいにズレをなくしたいものだ。」

毎年の役員改選にも、「わたし

売り渡しし四万三千俵

災害を克服した豊作

豊作が五年続いた。どこの部落でも予約申し込み数をほるかに越えたといふ。

被害一億円といわれた七月の大雨ではあったが、それも町全体の耕地から見ると全収量の五パーセント、大きな痛手を受けた農家をのぞくとわわめて豊年満作であった。別記の売り渡し状況がそれを示してくれたのである。ことしの豊作を解剖してみよう。

主因は技術の向上

豊作の原因はまず何よりも天候に恵まれたからだが、これとは別に普及所や農協など技術陣の適切な指導で、肥培管理の技術が著しく進歩したからたということができる。品種の改善や新農薬の普及にもめざましいものがあった。

検査等級が良かったのは、①脱穀調製の時期に晴天が多かったこと、②乾燥機が普及したこと、などの理由があげられる。

青年層の活躍も見のがすことができない。たとえば肥料設計をするにも、青年学級や四日クラブ、農協青年部などの組織を中心として盛んに技術交流が行なわれた。従来の独善的な方式が、共同研究という形に変わってきたのである。

次は米質の改善を

全般的に生産が伸び、売り渡し世帯もぐっと多くなった。農家の暮しが向上してきたことはいまでもない。しかし、やがては米が商品化して、量よりも質が強く要求される時代がやってくるだろう。

優良児が選ばれた。明後十二日役場で表彰式を挙げる。中村町長から賞状と賞品が贈られる。

三十三年度四月一日から三十四年度三月三十一日まで生まれた赤ちゃん、二百五十九名を対象に、橋診療所森永先生、千手診療所浅井先生が乳児検診とあわせて審査を行なったもの。晴れの入賞赤ちゃんはそのとおりである。

優賞

- 藤巻均 塩辛 優良男
- 小野塚良二 田中町 友吉二男
- 富井 義人 上野 正雄長男
- 秦野 道男 仁田 勇一郎二男
- 戸田 弘二 仁田 久仁二男
- 石川 利文 上野 利徳長男
- 藤巻 慎一 塩辛 三郎長男
- 田口 信雄 木落 幸男長男
- 高橋 正雄 高倉 三代治三男
- 田畑 繁 元町 虎太郎二男
- 上村 修一 上野 長吉長男
- 小林 和人 中仙田 亨長男
- 須藤 史子 仁田 良平長女

米の売り渡し状況

十月末現在

- カツコ内は昨年同期の実績
- 千手 一四、八八七俵
- 上野 (二二、二二四)
- 八、五〇八俵
- 橘 (六、八三三)
- 八、八一〇俵
- (七、一三六)
- 仙田 一〇、五三八俵
- (七、二二〇)
- 計 四二、七四三俵
- (三三、三八四)
- 予的申込数 三九、一四七俵
- (三六、四〇〇)

優良児二十一人

赤ちゃんコンクール終わる

町の第二回赤ちゃんコンクールで、男子十三名、女子八名の健康

戸籍の窓から十月分

戸籍の窓から十月分

- 平野藤太郎 発電所通 六七
- 相崎 仁 神立 二四
- 中村 シメ 坪山 八八
- 齋藤仁太郎 山野田 五三
- 和久井ツル 木落 七〇
- 村越 イネ 野口 四八
- 高津金治郎 塩辛 三九
- 桑野 順平 仁田 七七
- 小幡 幸男 仁田 二五
- 山田 恆喜 仁田 七八
- 上村 ツル 元町 七〇
- 星名幹太郎 元町 三〇

一日から狩猟解禁

事故防止に協力を

十一月一日から狩猟解禁になりました。来年の三月十五日までです。次のことをよく守って事故を起こさないように気をつけましょう。もし違反者を見つけた方はご遠慮なく警察に知らせてください。(川西巡査部長派出所長)

①日の出前や日没後、市街地や人家の密集している場所、群集のいる場所では発砲できない。

②道路や神社の境内、墓地などではどんな方法でも狩猟できない。

③きし・やまどりの狩猟期間は十一月一日から来年三月十五日まで、とつても売却してはならぬ。

④穴くま・おすいたら・きつねたぬき・てん・むさびり・りす・の狩猟期間は、十二月十五日から来年の二月末日まで。

火の子と思いな

火事の親 川西町消防団

十月二十日午後三時ごろ、赤谷地内にはと近い柏崎市(南嶺石の大沢)の山中で、九十五キロのオス熊が射止められました。オス熊も出没している。といううわさがあります。注意してください。

うぶ声 御すこやかに

- 数藤ちあき 沖立 清治長女
- 春日ちい子 神社町 喜平三女
- 田中 亮一 下平 忠吉長男
- 山口 智子 仁田 守也三女
- 山口 千秋 仁田 清二女
- 田中千恵子 仁田 芳男長女
- 田口 博明 仁田 正昭長男
- 田口 浩 木落 喜太郎長男
- 太田 修 田中町 昭司二男
- 上村 典子 下平新田 健一長女
- 井川 清江 新町 一二女
- 齋藤 弘 上野 幸作長男
- 金崎 勉 元町 健吉二男
- 中條 広 大倉 政吉二男

としよりがふたり寄れば必ず年金の話が出る。この人たちの第一の関心は「ほんとうにオラももらえらるのだからか」ということだ。うは捨ての伝説を持つ四柄だから、月千円というさやかな額だとして「お上から」といって金をくたさる」といふことが、にわかには信じがたいのもむりはない。期待が大きいだけに、もしやという不安も抑えきれないのだ。だから、「ひととは手数料を百円納めたというのに、オラののは七十円しか取ってくれなかったが」と手数料の差が受給額の確実性の差であるかのように心配するオババや、同一世帯で二人分の申請をしたのに「手数料は一人分しか取ってくれない。納めるものを人並に納めない」と気分が悪いから、せひもう一人分受け取ってもらいたい」と訴えるオジジの心境も決して笑いでではない。△童心にかえってそれのみを待ちこがれているというのに、年金支給を三月までおあすけにしておくとおのりも罪な話だ。町でも毎月十人内外の昇天者のうち約半数は七十才以上の入らたがが、老令年金のためまゝとして、支給日の前日に死亡しても受給権は消滅して一銭ももらえないという。一少してもいいから早く、「一」といふのは当事者だけのせいではない△あいにくとこれからはと、しよりに不向きな寒期にむかうわけであるが、何はともあれ、かせきと引かぬようにして、せ、かくの年金をめでたく受領されるよう念じてやまない。(良)

としよりがふたり寄れば必ず年金の話が出る。この人たちの第一の関心は「ほんとうにオラももらえらるのだからか」ということだ。うは捨ての伝説を持つ四柄だから、月千円というさやかな額だとして「お上から」といって金をくたさる」といふことが、にわかには信じがたいのもむりはない。期待が大きいだけに、もしやという不安も抑えきれないのだ。だから、「ひととは手数料を百円納めたというのに、オラののは七十円しか取ってくれなかったが」と手数料の差が受給額の確実性の差であるかのように心配するオババや、同一世帯で二人分の申請をしたのに「手数料は一人分しか取ってくれない。納めるものを人並に納めない」と気分が悪いから、せひもう一人分受け取ってもらいたい」と訴えるオジジの心境も決して笑いでではない。△童心にかえってそれのみを待ちこがれているというのに、年金支給を三月までおあすけにしておくとおのりも罪な話だ。町でも毎月十人内外の昇天者のうち約半数は七十才以上の入らたがが、老令年金のためまゝとして、支給日の前日に死亡しても受給権は消滅して一銭ももらえないという。一少してもいいから早く、「一」といふのは当事者だけのせいではない△あいにくとこれからはと、しよりに不向きな寒期にむかうわけであるが、何はともあれ、かせきと引かぬようにして、せ、かくの年金をめでたく受領されるよう念じてやまない。(良)

十一月五日から十九日まで

申請すでに五五〇人

発足した国民年金

「おらまあ、うれしくてアリガタくて……こんなささやか……がしきりにきかれる。一日から待望の国民年金制が実施されたか……らだ。ジツサやババサにお上から金がおりる。まことにけっごう……なご時世とはなつたものだ。しかし、年がくればだれもが無条件……でもらえる、ということにはならなかつたよつである。……すべり出し第一年度の状況はいったいどうなるのか……」

二カ年間は

無拠出制だけ

十一月からといつても、拠出制(保険料を納めて年金を受けるもの)の年金が施行されるのは三十六年四月一日からのこと、ことしから実施されるのは無拠出制(年金を納めなくても年金をもらう)の福祉年金(老令・傷害・母子)である。このため九月から請求申請を行なつてきた社会係は、ひきもさらない来訪者にてんてく舞の日が続いた。受給資格があるかどう



救援物資ぞくぞく

伊勢湾台風被害に苦しむ被災者への支援物資が、山保地区の有志者から次々と届いてきている。物資は、被災地の被災者に届くまで、山保地区の有志者が、被災者のために奔走している。被災者のために、山保地区の有志者が、被災者のために奔走している。

町民の生活に支障をきたしている被災者への支援物資が、山保地区の有志者から次々と届いてきている。物資は、被災地の被災者に届くまで、山保地区の有志者が、被災者のために奔走している。被災者のために、山保地区の有志者が、被災者のために奔走している。

町民の生活に支障をきたしている被災者への支援物資が、山保地区の有志者から次々と届いてきている。物資は、被災地の被災者に届くまで、山保地区の有志者が、被災者のために奔走している。被災者のために、山保地区の有志者が、被災者のために奔走している。

町民の生活に支障をきたしている被災者への支援物資が、山保地区の有志者から次々と届いてきている。物資は、被災地の被災者に届くまで、山保地区の有志者が、被災者のために奔走している。被災者のために、山保地区の有志者が、被災者のために奔走している。

町民の生活に支障をきたしている被災者への支援物資が、山保地区の有志者から次々と届いてきている。物資は、被災地の被災者に届くまで、山保地区の有志者が、被災者のために奔走している。被災者のために、山保地区の有志者が、被災者のために奔走している。

老令福祉年金
七十才以上の人に、年額一万二千円が支給される。該当者は五百十三件あった。自分ではもらえない

母子福祉年金
該当者二十九件、夫に死別した者に年額一万二千円(子が二人以上の場合一人につき月二百円が加算される。二十五才以上の子がいてはダメ)が支給される。

障害福祉年金
該当者十六件、日常生活の用を足すことのできない二十才以上の障害者(全盲・全ろう・両手指の全部とか両足首から先のない人など)に、年額一万八千円が支給される。傷害の程度はともかく、内科的疾患が原因で人手を必要とするような人は該当しなかつた。

金山係長は語る
法律ができたことは、社会保障制度に一新紀元を画するものといふべきだが、発足したばかりで不備な点も認められる。たとえば傷害福祉年金の場合、傷害程度の認

民生委員の改選せまる
民生委員の改選期がきた。三年の任期がこの十一月いっぱい満了となる。地域社会の信頼と期待に応え、これまで活動実績を積み上げてこられた民生委員各位に深く敬意を表したい。

かむにしを讀んで
東京にいるわたしに、知人が毎月「広報かわにし」を送ってくれ、読んで最初に感じたのは、役場が発行する広報紙とは思えぬ親しみがあふれている。ということだった。

町の声
官庁で発行する印刷物は、とにかくツツキニクイものだ。一般の人たちも「アアまた来たか」とくちの注意しかせず、見出しだけ見てあとはなげやりにする人が多い。しかし、一かめにしにはそういうけいは、ほとんど感じられない。突にうまく編集してある。それというのも伝達のほかに町の声や町内の実談などをふんだんに取り入れ、読者

町民と役場を結ぶ「かわにし」
今後の発展を祈ってやまない(杉並区阿佐ヶ谷一ノ七六五)とらや 市川(金平)

広報でしのぶ町
前略、速く異郷の地におりますと、ふるさとに接することが何よりもうれしく、かつまた楽しみなものであることは申すに及びません。一文一字を見のがすことなく拝読して、堅実なる町の発展に思いをはせております。後略(国立新潟療養所内) 齋木兼松

推薦委員の顔ぶれ
この町の民生委員推薦会の委員は次の十三氏である。(社会係)
① 議員から、平野圭一・田村才一郎
② 民生委員から、高橋与平・大久保武義
③ 社会福祉事業の実施に関係ある者から、南雲栄介・渡辺軍治
④ 社会福祉関係団体の代表者から、丸山豊太郎・登坂キシ
⑤ 教育に関係ある者から、高橋勇太郎・上村省司
⑥ 関係行政機関の職員から、金山良晃
⑦ 学識経験者から、野沢秀保・星名照子 (委員は十月十日付)

選挙人名簿が縦覧されるのもこの期間です

と申して役場まで来たオジシが、課税台帳の面で十三万円以上の所得者になっていてダメ、という気の毒な人もかなりある。ことしはどつにもならないとしても来年あたけから、所得申請者の名義が実際の働き手に替わってくるのではないだろうか。

おことわり
戸内めぐり休みます。

ブラジル通信①

盛大な赤道祭

南半球にホタル飛ぶ春

在ブラジル金子国栄

去る八月四日、故国をあとにしてブラジル移民の途に上った岩瀬出身の金子国栄君から、現地より第一信がとどいた。

横浜出港後太平洋を越えて北米ロサンゼルスに寄港、パナマ運河を経て四十日後に最終寄港地サントスに上陸、十月二日、無事目的地レジストロの山本製茶工場に到着した金子君は、出発に当たってあたたかく激励してくれた故郷の人々に対して心から感謝しながら南十字星またたく新しい天地で、新しい生活へのスタートを切ったわけである。以下、同君の渡航第一信を紹介しよう。(丸山)

川西町の皆様、その後お変わりございませんでしょうか。ほくも元気でブラジルに着きました。

出発に当たって、中村町長さんをはじめ、ほくを励ましてくださった皆々様の厚意に、心から感謝のこぼしを申しあげます。

あめりか丸で横浜を出港してからロサンゼルスまで二週間、そこからクリストバル、ライガラ、キウラサオ、トルヒーリヨ、ヘレン、レシーフェに寄港して、サントス港まで四十日かかりました。

青い海ばかりでしたが、その中にもイルカの大群や、人間大の魚がほんの船の近くにスーと寄ってくるのです。キラキラと皮膚を輝かして、クネクネ泳ぐアザラシの群、遠くで潮を吹く鯨、鳥を思わせるような飛魚、千鳥、かもめ、あほう鳥など、たくさん動物たちがながくきめてくれました。

今年八月十日を二回やりました。日付変更線を通じた日です。

ほくも盆おどりをしました。

レシーフェには一週間滞在しました。ここは世界の三大美港に数えられるだけあって、全く絵に書いたような美しさでした。二十階三十階のビルが、港のすぐそばからそびえ立っています。巨人、小人、黒人、混血、金髪、黒髪と、全く人種の展覧会のようなのです。ほとんどの大人がヒゲを生やしています。これらの外人たちは、「日本製品は優秀だ」といって時計や万年筆を交換しようとするに話しかけて来ました。

いたるところに公園があり、太い真直な椰子の木にトカゲがチヨロチヨロしているのに驚きました。ほくの住むレジストロは、教会

ある女教師の手紙

何かしら大きく狂っているようです。専門の教育学者はほとんど全部、新教法に反対し、勤務評定に反対し、道徳の時間を特設することに反対しているのに、文部省はとてまでも強行してまいります。学問的にいけないうことばかりをやらうとしている。これはいったいどういうことでしょうか。わたくしたちの真に願うところは、この闘争に勝つと負けるか、そんなことではございませぬ。目的は「どうすればほんとうに良い教育ができるのか。」それだけかと思っております。

・教育のために生かすきけらというほど、わたしはけなげな

ロマチックな気持にはなっておられません。けれども今は教育の危機です。ほんとうに日本の教育はじまって以来、こんなに大きな危機はなかったろう。という気がいたします。尾崎ふみ子さんはこの書いた終わりに、「支えになつて忘れないで見守ってください」と頼みます。朝日に連載された「人間の壁」あなたのお説みにあつたでしよう。これが映画化されました。都の友の便りによれば「感動! さっそくみんなにすすめられています。目から出ると鼻からもで困りました。観客の八割がおかあさんたち、うは車を隣に置いた観る人もいました。忙しい母親たちが、ムリしても観ずにはいられない何かをもっています。冷静な理論家の彼を泣かした映

郵便局、銀行、裁判所、映画館など、外国風の美しい建物が整然と並んで、すぐそばを川が流れるひっそりとした町であります。こちらに来て、自分の心がたいへん狭かったことを学びました。ブラジルはいま春で、毎日二十六度C内外の、ちよつとよい気候です。夜になるとたくさんのホタルが飛んでいます。とても大きくて頭が光ります。南十字星もよく見えます。通貨単位はクルセイロです。一クルセイロが日本の約二円五十銭ですが、一時間違つても価値に変動があります。

ほくの勤める山本製茶工場は、量質ともにブラジルで一番大きなものです。そのすばらしさにビックリしました。いま紅茶の栽培に

力を入れていますが、なにせまだ来たばかり、よく見て歩いて概要を知るために一生懸命です。たれもかれもみんな良い人ばかりでとても親切にしてくれます。食事もおぼくは日本食で、渡伯してから四十年になるという老夫婦が毎日おいしいものを作ってくれます。NHKの南米向け放送もよくきこえます。台風が暴れて困ったものですね。仕事のことや細かい印象は、もっと落着いてからお便りします。皆様どうぞお元気で。(原文のまま)

【町の掲示板】

- ④四地区の公民館で図書の一部を入れ替えが終わった。本が、みなさんのご利用をお待ちしている。
- ⑤仙田中学校ではPTAの教養講座を毎月開催する。十月は、べんと座の作りかたを学んで好評だった。
- ⑥中央公民館の電話番号が、千手一十九番の甲に替わった。
- ⑦赤谷産子ケ島で本年甲に三ハクタールの開田が終わる。総工費二一三万円のうち補助が六四万円で、あとは起債。入山沢から揚水する。
- ⑧四日からはじめた全町の検便は、月末までかかる。係とはいえほんとうにくらうな仕事。検査日(通知す)に忘れず便を出して、この機会にハラの虫を根絶したい。

【町のお知らせ】

- 百舌の群村のうしろの山ひくく 下原 仁子
- 真境のこ風つよし紅葉晴れ 野口 寅夫
- 水道の蛇口にも虫鳴きすめり 越ヶ沢 辰治
- 鋤きおこす土新しや鳥渡る 岩瀬 桂子
- 夕焼の明るさ箱を刈りすすむ 大倉 洋石
- 新郎にたよるころや蒲団縫う 再度、俳句は写生と申しあげます。机上の作はさけてください。

◎例年の部落別成人講座を、この冬も実施することができません。編集という仕事は、こども心に安らぎを与えないものでしょうか。◎「たまには出かけて来い、話がききたい。」そう言ってきたさるみなさまの、ご期待に添うることができなくて残念です。

◎そのかわり、「社会教育の進展に役立つ広報を生みだしたい。」と考えております。

◎やがてくる冬、ひらひらと香もなく散る木の葉です。山かけのあせ道に野菊がゆれていました。

夜半に吹くあらしにつけて思ふかな、都もかや秋は悲しき (新古今集)



かわにし 俳壇 金山柏樹選